

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			マンツーマンの対応が出来るよう、職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	事業所入口までが階段のみである為、不十分である。ただし、介助が必要な児童が利用する日に関しては、適切に見守りや介助が出来るよう、人員配置を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現状は行っていないが、今後機会があれば活用を検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			毎月テーマを決めて、研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		アセスメントツールは使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			毎月異なる内容のプログラムを設定している。夏の長期休暇中には、学校の宿題にも活かせるような取り組みを行った。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		<input type="radio"/>		平日のみ、または学校休業日のみなど、利用する日に偏りがある場合は、集団と個別どちらかに偏ってしまう場合がある。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、当日の職員の役割分担や支援内容の打ち合わせを毎日行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、毎日当日取り組んだこと、気づいたこと等の振り返りを行い、記録している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ミーティング記録を作成し、支援中の留意点などを共有している。学習内容や習得度合いに関しては学習管理表に記している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全利用児童に対し、半年に1回は見直しを行っている。計画の達成状況に応じ、ご要望があった際は、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		サービス担当者会議などで学校と情報共有することはあるが、主に学校に関する情報は保護者から得ている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現状、医療的ケアが必要な児童がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者を通して書面や口頭で情報を提供していただくことが多く、直接は行っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今まで移行するケースがなかった。移行するケースがあれば、保護者の許可を得て、それまでの支援内容等の情報提供を行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	センターで行った検査結果等を参考にしているが、研修は受けていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現状希望されている方がいないので、今後要望があれば機会を設けていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後機会があれば積極的に参加したい。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話やメール等で情報共有を行っているが、今後より細かく行っていきたいと考えている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングは行っていないが、事業所内で有効だった対応方法等の共有は都度行っている。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際等に説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		面談以外でも都度相談を受け付けており、必要な対応をとっている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		特別支援学校の高校生や、卒業生を対象に、働き方や生活の仕方についてお話しする機会を設けている。小中学生についても今後企画していく。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対応が必要な場合は、迅速かつ適切に対応するように体制を整備している。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一度活動報告書を配布している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報を扱う場合は、ダブルチェックをするようにしている。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時や連絡帳、メールや電話などで情報を共有している。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後実施を検討していく。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		送迎時など玄関からすぐ見える位置にマニュアルを置いているが、ファイル形式で置かれているため周知が十分とは言えない。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年、火災・地震・水害の想定で訓練を実施している。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			3か月に1回、全スタッフ対象にセルフチェックと虐待防止研修を行っている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			当該児童または他児に危険が及ぶ際は身体拘束を行う。行った場合は記録をとり、迅速かつ適切に保護者へ報告している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者に聞き取りを行い、その情報をもとに対応している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日のミーティングの際に共有するとともに、ファイリングして、いつでも見ることが出来るようにしている。